

車両申告書は車検場に提出して下さい。

① J A F 登録番号標付車両による公認レース車両申告書

●参加者記入欄（裏面にも記入欄がございます。）

競技会名称							
競技参加者氏名		競技運転者許可証		国際・国内 No.			
競技運転者氏名		競技運転者許可証		国際・国内 No.			
車両名(通称名)		型式		乗車定員		人	
整備工場等の名称							
長さ	mm	幅	mm	高さ	mm		
車体番号		自動車登録番号					
国内競技車両規則に基づき参加車両の改造(変更、取付け)点を申告いたします。							
項目	変更の有無	内容		項目	変更の有無	内容	
1	タイヤ	有・無	サイズ:	6	安全ベルト	有・無 乗車定員の変更(有・無)	
2	ホイール	有・無	サイズ:	7	座席	有・無	
3	補助前照灯	有・無	個数:	8	消火器	有・無	
4	スプリング ホール	有・無	外径 mm	9	ショックアブソーバー	有・無	
5	ロールバー	有・無	乗車定員の変更(有・無)	10	スプリング	有・無	
誓 約							
参加車両の改造(変更・取付け)点については上記申告内容に相違なく、運輸省令道路運送車両の保安基準に適合し、国内競技車両規則に基づく車両で公道を走行するにたりる条件を満たしており、自己の責任において保安基準への適合性の確認を行っていることを誓約いたします。尚、ロールバーの取付け/スプリングの変更に際しては、競技会車両検査時に当該部分詳細図/強度検討書等(カタログで可)を提示することを誓約いたします。							
年 月 日			参加者署名:		印		

●オーガナイザー記入欄

開催期日・公認番号		クラス		ゼッケン	
車両検査結果	合格 ・ 不合格	技術委員長記名			

※「変更の有無」および「可否」の欄は該当するものを○印で囲んで下さい。

No.	検査箇所	有・無	検査項目	検査方法	可・否
1	自動車検査証	有・無	記載内容	査閲	可・否
2	自賠責保険証明書	有・無	記載内容	査閲	可・否
3	タイヤおよびホイール	有・無	亀裂、損傷/ナット・ボルト	JATMA YEAR BOOK、申告書、 カクダ等と照合/目視・感触	可・否
4	最低地上高		(アンダーカバなど装着車は 50mm)	90mm 以上 適宜測定	可・否
5	ロールバー	有・無	取付、寸法等	申告書、詳細図と照合のうえ目視・ 感触・測定等	可・否
6	安全ベルト	有・無	取付、バックルの作用	ECE 又は FMVSS 適合証明証の提示/ 目視・感触	可・否
7	座席	有・無		申告書・カクダ等と照合/目視・感触	可・否
8	スプリング ホール	有・無	外径等	申告書と照合のうえ測定等	可・否
9	消火器 (1,5kg 以上)		取付、内容量	目視・感触	可・否
10	ショックアブソーバー	有・無	取付、損傷	申告書・カクダ等と照合/目視・感触	可・否
11	スプリング	有・無	取付、損傷	申告書・強度検討書と照合/目視・ 感触	可・否
12	排出ガス		CO、HC	CO、HC 複合測定器による測定	測定値 % ppm

② 自動車登録番号標付車両によるレース終了後の車両検査票

●参加者記入欄（裏面にも記入欄がございます。）

誓 約			
下記検査結果に従い必要な整備作業等が完了しない限り、当該車両で一般の交通の用に供することはせず、自動車登録番号標付車両によるレースには参加しないことを誓約いたします。			
年	月	日	競技参加者署名： _____ 印
			競技運転者署名： _____ 印

●オーガナイザー記入欄

検査内容	可否
車体外板	
1 著しい損傷が無いこと	
かじ取り装置	
2 ハンドルの操作に不具合がないこと	
3 ロッド類又はアーム類の緩み、がた又は損傷がないこと	
4 ロッド類又はアーム類のボールジョイントのダストブーツの亀裂又は損傷がないこと	
5 パワー・スプリング装置のベルトの緩み又は損傷	
6 パワー・スプリング装置の油漏れ	
制動装置	
7 ブレーキペダルの踏みしろが適当でブレーキのききが十分であること	
8 駐車ブレーキレバーの引きしろが適当で、駐車ブレーキのききが十分であること	
9 ホース又はパイプの漏れがなく、損傷又は取付け状態に不良がないこと	
10 ブレーキの液量が適当であること	
走行装置	
11 タイヤの空気圧が適当であること	
12 タイヤに亀裂及び損傷がないこと	
13 溝の深さが十分であること	
14 ホイルベアリングのがたがないこと	
緩衝装置	
15 スプリングの損傷（エア・スプリングのエア漏れを含む）がないこと	
16 緩衝装置の取付部又は連結部に緩み、がた又は損傷がないこと	
17 ショックアブソーバの油漏れ又は損傷がないこと	
動力伝達装置	
18 トランスミッション又はトランスファの油漏れがないこと	
19 プロペラシャフト又はドライブシャフトの連結部に緩みがないこと	
20 プロペラシャフト又はドライブシャフトの自在継手部のダストブーツに亀裂がないこと	
21 デファレンシャルの油漏れがないこと	

検査内容	可否
電機装置	
22 バッテリー液量が適当であること	
23 バッテリーターミナル部の接続状態に不良がないこと	
原動機	
24 原動機のかかり具合が不良でなく、かつ、異音がないこと	
25 原動機の油漏れがなく、オイルの量が適当であること	
26 燃料装置の燃料漏れがないこと	
27 冷却水の量が適当であること	
28 冷却装置のファンベルトの緩み又は損傷がないこと	
29 CO, HCの排出濃度が当該車両の基準値を超えないこと	
排気系	
30 熱害防止装置の遮熱板の取付けの緩み又は損傷がないこと	
31 エグゾーストパイプ又はマフラーの取付の緩み又は損傷がないこと	
灯火装置・方向指示器	
32 点灯又は点滅具合が不良でなく、かつ、汚れ及び損傷がないこと	
警告器・窓拭器・洗浄液噴射装置	
33 ホーン音量及び音質に不良がないこと	
34 ウインドウォッシャーの液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないこと	
35 ワiperの払拭状態が不良でないこと	
競技走行において異常が認められた箇所	
36 当該箇所に異常がないこと	